令和元年度 本願寺小樽別院報恩講法要

令和元年十月十三日(日)～十六日(水)

報恩講について（ご案内）

報恩講は親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦労を通じて、阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人の３３回忌のご法要にあたり、本願寺第三代覚如上人（かくにょしょうにん）がそのご遺徳を讃仰（さんごう）するため『報恩講私記（ほうおんこうしき）』をご製作になられ、以来、聖人のご命日の法要は**「報恩講」**として、大切にお勤めされてきました。

本願寺第八代蓮如上人（れんにょしょうにん）がお示しのとおり、正しくお念仏のいわれを聞かせていただき、身にいただいて、真実信心の行者になることが聖人の御恩に報いる道です。

小樽別院では、毎年１０月１３日から１６日までお勤めいたしております。お念仏の道をお示しいただいた親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に遇えた喜びをこの身に受け、共々にお念仏申させていただきたいと思います。

この一年で一番大切な法要です。どうか万障お繰り合わせのうえ、ご家族や友人など有縁の方を誘い合って参詣くださいますようご案内いたします。

お斎（とき）について

仏教では、『食事（じきじ）』と呼ばれる、午前十時から正午までの間に食事をする習わしがあり、このときの料理を『斎（とき）』といいます。毎年１０月１５日の日中法要終了後にお斎の接待を会館２階（ホール）にておこなっています。小樽別院では、動物性の食材は一切用いない精進料理をご用意しておりますので、是非ご賞味ください。

報恩講法要（日程）

１３日（日）－逮夜
１４日（月）－晨朝・日中・逮夜・初夜
１５日（火）－晨朝・日中・逮夜・初夜
　　後夜
１６日（水）－晨朝・満日中

（法要の時間）

晨朝(じんじょう)	６時３０分
日中(にっちゅう)	１０時００分
逮夜(たいや)	１３時３０分
初夜(しょや)	１８時００分
後夜(ごや)	２０時００分

報恩講布教（全日程）

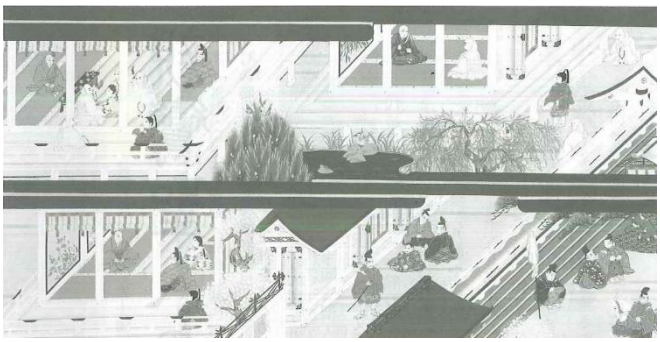
本願寺派布教使　阿部信幾師
（東京教区・群馬組・西福寺）

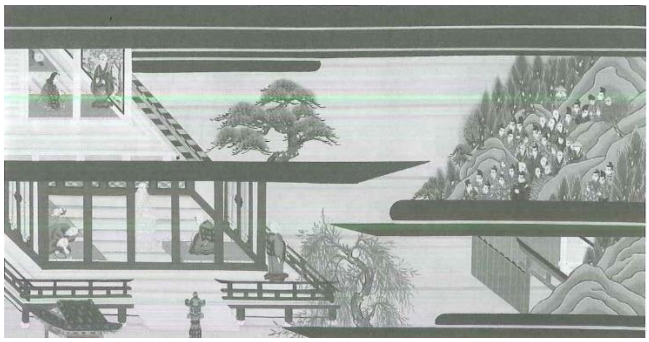
祖徳讃仰（初夜後のご法話）

１４日（月）　佐々木法雨師
（後志組・照覚寺）

１５日（火）　吉川昭恵師
（留萌組・信楽寺）

◇各法要の後に、布教(ご法話)があります。
◇日中・逮夜法要では、職員による雅楽演奏を入れた法要をいたします。
◇１３日（日）・１４日（月）の逮夜法要の後に、御伝鈔（ごでんしょう）※の拝読があります。
◇１５日（火）日中法要の後に、物故者追悼法要をお勤めします。
◇１５日（火）、１２時頃よりお斎の接待を会館ホールにて行っています。





※親鸞聖人のご生涯をまとめた絵物語で『御絵伝』といいます。報恩講の折にこの「御絵伝」（四幅）を本堂の右余間にお掛けし、１０月１３日に『御伝鈔上巻』を、１４日に『御伝鈔下巻』を拝読して宗祖のご生涯を偲ばせていただきます。